

令和6年度創業者成長加速化支援事業業務企画提案に係る質問と回答

番号	質問日	項目	質問内容	回答
1	R6. 4. 5	仕様書【4 - 支援対象者】に関して	「支援対象者の選定に当たっては、県が支援希望者を募集した後、県及び受託者により創業者の経営状況や事業計画等を創業者へのヒアリング、」とありますが、企業の募集に関しては受託者側で募集の周知・アプローチなど実施する必要はない認識でよろしいでしょうか？	お見込みのとおりです。
2	R6. 4. 5	仕様書【5 - 業務内容】に関して	「目標は、投資家等からの資金調達、事業会社との連携、公的機関が実施する支援メニューへの採択など本事業の目的に基づいた具体的な目標を設定すること。」とありますが、本事業の最終目標は、1. 企業の経営課題の改善、2. 資金調達、ビジマ、支援メニュー採択のどちらを重視していますでしょうか？	本事業では、支援対象者の事業成長の加速化を目的としており、ご提示いただいた区分のどちらかを重視しているものではありません。 事前に支援対象者へヒアリングを行っていただき、個別の経営状況に合わせた目標及び支援プログラムの設定をお願いします。
3	R6. 4. 5	仕様書【5 - 業務内容】に関して	「本県の地域課題解決や地域活性化に繋がるものとなるよう、受託者の専門性に基づく知見を活かした支援対象者の課題の抽出と、解決へ導くための取組み」とありますが、例えばどのようなイメージかをご教示を頂けますと幸いです。	一例としては、県内製品の販売を行う事業者、プロモーションについての知識や人脈が不足しているという課題に対し、受託者の持つ専門的な知見を活かした県内外の競合他社の分析支援や協業候補者の紹介といった方法での解決を想定しています。